

# 未来構想レター (新年号)



〒100-6015 東京都千代田区霞が関三丁目  
2番5号霞が関ビル15階 JWD内  
電話：03-6625-0723/ FAX:03-6625-0724  
E-mail: info@ffv.jp

一般社団法人未来構想会議  
-Forum on Future Vision-  
2025年1月1日

ぜひホームページ <https://ffv.jp/> を訪問してください。

様々なしがらみから解き離れた観点から、独立のシンクタンクとして、大胆に社会に提言を行い、SDGsの達成と持続可能な開発の構築に向け活動を行います。季刊第6号未来構想レター（2025 新年号）をお届けいたします。

## 新年のご挨拶



会長 河村建夫

### 新年あけましておめでとうございます。

2024年は国内、国外ともに激動の一年となりました。1月1日に起こった能登半島地震では多くの尊い人命が失われ、永い時を経て人々が作り上げてきた住環境や文化資産も甚大な被害を受けるとともに、続く豪雨による二重災害で復興のめどはなかなか見えてきません。世界に目を向ければ、ロシアによるウクライナ侵攻やパレスチナのガザ地区での紛争もその範囲を拡大しながら続いており、多くの犠牲者が生まれています。シリアをはじめ多くの国や地域で政情が不安定化し、米国では次期大統領にトランプ氏が選出されるなど、世界は大きな変化の時を迎え、混沌とした状況になっています。このような世界の変革期において、ますます日本が果たすべき役割や、日本がどのような選択をするかが問われています。未来構想会議は引き続き真摯な議論を行い、日本のそして世界の平和と安定の構築に貢献したいと願っております。本年が皆様の飛躍の年となりますことを祈念しております。

### 新年明けましておめでとうございます<sup>祝</sup>

本年は乙巳(きのとみ)で「努力を重ねて、物事を安定させていく」という意味合いを持つ年とされています。昨年は元旦に最大震度7の能登半島地震、羽田空港での飛行機衝突事故と大惨事の幕開けとなりました。未だ復旧・復興が進まず厳しい生活を強いられている能登の被災者皆様にお見舞い申し上げます。今、世界各地で分断と亀裂が深まり混迷が広がっています。政治・経済・社会において諸課題が生じて深刻になり解決するために大変革期に入りました。日本も、政治の不安定、急速な人口減少、気候変動の進行、AIの台頭、国際関係の緊張、エネルギー・食糧不足等、早急な対策が求められています。戦後80年の本年はロシアのウクライナ侵攻やイスラエルとハマスの戦争の早期停戦やノーベル平和賞受賞した原水爆被団協が訴える核なき世界の実現を、トランプ大統領の経済や安全保障政策に翻弄されず、日本の主体性を失うことなく世界に向けて役割と責任を明確に示していく必要があります。一般社団法人未来構想会議は設立から4年目に入り理事・監事・会員皆様のご協力を得て更なる研鑽を重ねて子供や孫達に安心・安全な未来を創るための提言を行ってまいります。引き続きのご指導ご支援お願い致します。本年が皆様にとり幸多い一年になりますようお祈り申し上げます。

### 新年明けましておめでとうございます

昨年は、いわゆる裏金問題で政治不信が深まり、衆議院総選挙の結果、自公連立与党は少数与党となり、難しい政権運営が求められることとなりました。与党も野党も国民から信頼される政治の実現に向けて努力してもらいたいと思います。未来構想会議では、昨年多くの勉強会を開催すると共に、7月1日に「高レベル放射性廃棄物の処分に関する提言」を発表しました。現職時代、河村建夫会長・増子輝彦理事長と共に超党派の「高レベル放射性廃棄物等の最終処分に関する議員連盟」の共同代表を務めた者としては感慨深いものがあります。この提言が、最終処分場問題の進展に少しでも役立つ事を期待します。本年が皆様にとって素晴らしい年となりますことを心より祈念いたしております。

## 新年のお慶びを申し上げます<sup>祝</sup>

一般社団法人未来構想会議 理事・監事・事務局長



理事長 増子輝彦



副理事長 富田茂之

理事：伊藤庄平、入澤優公、大川達也、大久保勉、大久保泰典、岡島礼奈、蒲生篤実、蒲原基道、  
齊藤鈴華、谷口久徳、樽見英樹、塚脇正幸、松本千穂、由木文彦  
監事：生貝健二  
事務局長：原 里緒

## 未来構想会議 第7回理事会 12月2日 於：日比谷晴珍楼



最初に**増子理事長**が理事の参加に感謝を述べ、「未来構想会議の設立後約3年が経過し、勉強会の開催や提言の発信など着実に成果も現れてきていると考える。引き続き皆様のご指導ご支援を頂きながら、より積極的に活動を頑張っていきたい。」と挨拶し、開会を宣言した。次に

**河村会長**が「未来構想会議も本日で7回目の理事会を迎えることができ、勉強会も25回を数えるところとなった。また本年7月には提言も発信するなど、活動が本格化していることを嬉しく思う。本会議のメンバーである議員・官僚・民間のOBは、OBならではの視点や意見を持っていると考える。ここにお集まりの優れたメンバーの知見を生かしてより良い社会を作ることを考えていきたい。」と挨拶した。**報告事項**として事務局から6月～11月の事業報告・半期の収支計算報告がなされた。報告事項に続いて**決議事項**として第1号議案「令和7年度事業計画・予算案」について事務局から内容の説明が行われ、協議の上、原案どおり決議された。**増子理事長**より、「新型コロナウイルス等の影響も乗り越え国内外の交流が活発化していることを踏まえ、令和7年度において、国内外等の視察などをやっていきたいと考えている。」と説明があった。**懇親会**が理事会終了後に引き続き行われ、**富田茂之副理事長**が「本年も多くの有意義な活動を皆さんと行い、このように集うことができたことを嬉しく思う。個人としては春に叙勲の受章があり、本日の理事会の会場も思い出の多くある場所で感慨深い。来年も積極的に活動し、新たな展開にも期待したい。」と、叙勲の受章報告と挨拶の後、乾杯の発声を行った。和やかな懇親会の後、**蒲原基道理事**による中締め挨拶で閉会した。

## 未来構想会議 勉強会

未来構想会議では、設立目的である未来に向けた大胆な提言を行うために各分野の専門家をお招きして勉強会を開催し、積極的な活動を行っています。

令和6年には10回の勉強会を開催しました。1月12日第16回勉強会「2024年1月2日羽田空港における日航機と海上保安庁航空機の事故について」、1月30日第17回勉強会「現下の政治情勢について」、3月7日第18回勉強会「核ごみ最終処分場文献調査報告書案について」、3月26日第19回勉強会「2024年診療報酬の改定について」、4月22日第20回勉強会「核融合発電研究の現状と実現への展望について」、6月10日第21回勉強会「廃炉の現状と方向性について」、9月20日第22回勉強会「現下の政治情勢について—自由民主党総裁選・立憲民主党代表選など」、10月17日第23回勉強会「今後の日中関係について」、11月21日第24回勉強会「米大統領選後の日本と米国の経済」、12月11日第25回勉強会「アメリカの現在(いま)—トランプ次期大統領当選後の現地報告」を実施しました。

### 9月20日第22回勉強会

#### 「現下の政治情勢について—自由民主党総裁選・立憲民主党代表選など」

講師：後藤謙次氏（政治ジャーナリスト、元共同通信社編集局長）

（講演の要約）

#### 過去最低の自民党総裁選

政治記者・ジャーナリストの経験から、今回の総裁選は過去最低の状況であると指摘されました。立候補者の準備不足や、党内の派閥関係の混乱など、様々な問題点が指摘されました。



また、外交や経済政策など、次期総理大臣に求められる資質についても議論されました。各主要候補者の特徴や支持基盤については、石破茂氏は同情票を集めている可能性があり、小泉進次郎氏は若年層の支持を集めていると指摘されました。一方で、高市早苗氏は保守系の支持を集めているものの、議員票の広がりが乏しいことが問題視されました。また、岸田文雄氏の戦略的な行動が分析され、今後の予測として、早期の解散総選挙が行われる可能性が高いことが示唆されました。**河村建夫会長、増子輝彦理事長、富田茂之副理事長、伊藤庄平理事、岡島礼奈理事、由木文彦理事が出席。大久保勉理事、大久保泰典理事、蒲原基道理事、斉藤鈴華理事がZOOMで参加。**

### 10月17日第23回勉強会

#### 「今後の日中関係について」

講師：近藤大介氏（ジャーナリスト、現代ビジネス編集次長、明治大学国際日本学部講師）

（講演の要約）

#### 習近平体制下での経済・外交・内政・香港・台湾問題

経済は国内消費と投資が振るわず輸出に依存、若年層の失業率が高く就職先がないという状況が指摘されました。経済の回復を目指すも実際の対策は具体性を欠き株価が暴落、国有企業にも破綻の波が押し寄せています。外交は戦狼外交から微笑外交へと変化し、対中強硬姿勢の第二次トランプ政権の誕生を恐れ、早期に石破総理との会談を実現したい考えと予測されました。国内は「総体国家安全観」のもと「反スパイ法」や「國務院組織法」が改正されるなど圧政的です。香港は「香港国家安全条例」によって、香港人より愛国者が治める香港へと変化が見られます。台湾については、戦争を望まない習近平執行部と、好戦的な人民解放軍・海警局という二つの立場があり、中国が一枚岩ではないという見解が語られました。



**日本への影響と日中関係** 台湾有事は日本有事として、ボートピープルや尖閣有事への飛び火、アメリカからの自衛隊への出動要請の際の対処や、エネルギー問題の観点で中東からのタンカーのシーレーンを中国に封鎖された場合の対処について懸念されています。日中関係は、10月10日に石破新首相と李強首相が会談し、石破首相から七つの要求—日本産水産物すなわち福島第1原発のALPS処理水の問題、和牛の輸入再開問題、尖閣諸島のEEZ内ブイ設置問題、中国軍用機の初の日本領空侵犯問題、蘇州と深圳の日本人学校襲撃問題、日本人拘束問題、南シナ海問題—が出され、ビジネス関係も日系企業の中国市場からの撤退や縮小がトレンドと厳しい状況の中、習近平主席の対日姿勢に軟化が見られ、年内あるいは1月の石破首相訪中の可能性も示唆されました。さまざまな観点から日中関係について活発な議論が行われました。**河村建夫会長、増子輝彦理事長、富田茂之副理事長、蒲生篤実理事、竹田秀・一般財団法人竹田健康財団理事長が出席。大久保泰典理事、鈴木幸雄・株式会社鈴弥洋行取締役会長がZOOMで参加。**

## 11月21日 第24回勉強会 「米大統領選後の日米経済」

講師：講師：片岡進氏（ジェトロ・独立行政法人日本貿易振興機構副理事長）、藤井麻理氏（同機構調査部長）

策方針が詳細に報告され、特に移民対策、通商政策、エネルギー政策、気候変動問題に関する新政権の姿勢が注目されました。また、半導体産業や自動車産業に対する新政権の方針についても言及があり、今後の動向が注視されています。アメリカの外交政策については、特に中国、ロシア、イスラエル、台湾との関係について議論されました。日本企業のアメリカへの投資と雇用創出の重要性が強調され、トランプ政権下での戦略的な投資発表の必要性が指摘されました。また、日系企業の実態調査結果が共有され、多くの企業が黒字見込みであることや、人材確保が課題となっていることが報告されました。

**アメリカとの協力とEVの普及** アメリカとの協力関係、効率化省の権限、電気自動車(EV)の普及について議論されました。アメリカとの協力に関しては慎重な姿勢が示され、効率化省の予算カット権限は現時点では持たないとされています。EVの普及については、補助金の影響やインフラ整備の進展が指摘され、今後も拡大傾向が続くと予想されています。**河村建夫会長、増子輝彦理事長、富田茂之副理事長、堀口富美子会員が出席。**

(講演の要約)

**トランプ政権の新しい姿勢**  
トランプ新政権の発足に伴う日米関係や世界情勢の変化について議論されました。トランプ氏の閣僚人事や政



## 12月11日 第25回勉強会 「アメリカの現在(いま) - トランプ次期大統領当選後の現地報告」

講師：渡部恒雄・笹川平和財団上席研究員

(講演の要約)

**トランプ氏の接戦勝利** トランプ氏とハリス氏の大統領選挙の結果と、その背景について説明がありました。トランプ氏が勝利したものの、得票率は49.35%で過半数に達していないことが指摘されています。接戦州での僅差の勝利がトランプ氏の勝因となりました。議会選挙では共和党が上院で多数を獲得しましたが、下院では民主党との差が僅かです。ガザ問題がミシガン州などでアラブ系有権者の投票行動に影響を与えた可能性が示唆されています。全体として、トランプ氏の勝利は圧倒的なものではなく、今後の政権運営には課題があることが指摘されました。

**トランプ政権の経済・外交戦略** トランプは自身の法的問題を解決することを最優先しており、そのために経済を良好に保ち、中間選挙で負けないようにする必要があります。人事面では、司法長官候補のパム・ボンディや FBI長官候補のカーター・ページなど、トランプに忠実な人物が選ばれています。外交・安全保障チームには、日本にとって比較的好ましい人物も含まれていますが、防衛費増額を求めてくる可能性が高いです。経済チームは成長重視の傾向があり、完全な保護主義には向かわない可能性があります。イーロン・マスクは政府効率化のショーケースとして起用される可能性がありますが、実際の影響は限定的でしょう。日本は防衛費増額要求に対し、財務省的な知恵を使って対応する必要があります。例えば、複数年度予算や戦略的装備への投資などの工夫が考えられます。日本側の交渉チームを適切に編成し、トランプ政権の要求に対して柔軟に対応することが重要です。**河村建夫会長、増子輝彦理事長、富田茂之副理事長、穴吹昌弘・JR 東日本スポーツ株式会社代表取締役社長が出席。竹田秀・一般財団法人竹田健康財団理事長が ZOOM で参加。**



## 未来構想会議 提言

未来構想会議では設立以来、勉強会や専門家との対話を重ね、2024年に2つの提言を発信いたしました。特に「高レベル放射性廃棄物の処分に関する提言」は、共同通信をはじめ全国紙や地方紙、ネットニュースなど、40以上のメディアに掲載され大きな反響を頂きました。各提言の詳細は以下のQRコードよりご覧いただけます。今後も、次世代に負の遺産を残すことのないよう、持続可能な社会の構築に向けて研鑽を積み、積極的に活動を行ってまいります。

7月1日  
「高レベル放射性廃棄物(核のゴミ)の  
処分に関する提言」



8月1日  
「GX 推進戦略の決定打 - 既存インフラを活用した  
新送電網の構築」



## 12月 主要活動報告

12月2日（月）

- ▶ 一般社団法人未来構想会議 第7回理事会開催。令和7年度事業計画・予算を決議。理事13名、監事1名が参加。  
出席理事：河村建夫、増子輝彦、富田茂之、伊藤庄平、大川達也、大久保勉、岡島礼奈、蒲生篤実、蒲原基道、斉藤鈴華、樽見英樹、松本千穂、由木文彦  
出席監事：生貝健二

12月3日（火）

- ▶ 大川達也理事、江川智之・株式会社アルテニカ代表取締役社長と増子輝彦理事長が懇談。

12月10日（火）

- ▶ 鍛治克彦・株式会社商工組合中央金庫（商工中金）取締役専務執行役員来所。  
▶ 吉田敦・株式会社吉辰工業代表取締役社長来所。

12月11日（水）

- ▶ 未来構想会議第25回勉強会「アメリカの現在（いま）一トランプ次期大統領当選後の現地報告」  
講師：渡部恒雄氏（公益財団法人笹川平和財団安全保障 研究グループ上席研究員）  
河村建夫会長、増子輝彦理事長、富田茂之副理事長、穴吹昌弘・JR東日本スポーツ株式会社代表取締役社長が出席。竹田秀・一般財団法人竹田健康財団理事長がZOOMで参加。  
▶ 林幹雄・元経済産業大臣、河村建夫会長、増子理事長、富田茂之副理事長が懇談。

12月12日（木）

- ▶ 遠藤昭二・株式会社ISホールディングス代表取締役社長と増子理事長が面談。

12月13日（金）

- ▶ 菊池基文・元福島県埴町長、山田浩・東邦銀行埴支店長来所。  
▶ 国土交通省歴代国会担当者と増子理事長が懇談。

12月16日（月）

- ▶ 堀口富美子・日本防災女子株式会社代表取締役、関信行・株式会社関建設代表取締役来所。

12月17日（火）

- ▶ 小林史明・社会福祉法人啓和会理事・障がい福祉部長、高橋智之・同法人本部理事・企画調整部長来所。

12月19日（木）

- ▶ 荻野健・株式会社アイメイドアルファ代表取締役社長来所。  
▶ 生貝健二監事来所。  
▶ 市岡綾子・マンガプロダクションズ Executive Assistant / CEO Office と増子輝彦理事長が面談。

12月20日（金）

- ▶ 渡邊一夫・総合南東北病院総長と増子輝彦理事長が面談。  
▶ 渡邊文博・総合南東北病院常務理事、荻野健・株式会社アイメイドアルファ代表取締役社長と増子理事長が面談。  
▶ 木村雄佑・東日本旅客鉄道株式会社（JR 東日本）総務・法務戦略部マネージャー来所。

12月23日（月）

- ▶ 大村昭一・日本風力開発株式会社執行役員、田中康之・三森風力開発株式会社郡山事務所所長来所。

12月25日（水）

- ▶ 鈴木幸雄賛助会員、神田貢典賛助会員と増子理事長が懇談。

[活動報告 | 一般社団法人未来構想会議](https://ffv.jp/activity-report/) <https://ffv.jp/activity-report/> ←毎月の活動報告をご覧ください。

## 新事務局長よりご挨拶



事務局長 原 里緒

2024年7月より新事務局長として就任しました原 里緒（はら りお）です。

志高く日本の社会をつくり、守り育ててこられた理事・監事・会員の皆様と、未来志向で次の時代へとつながる活動に携われますこと、大変光栄に存じます。未来構想会議の着実にスムーズな運営に努めてまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

略歴：大阪大学卒業後、地方公共団体を経て民間広告代理店や外資系製薬メーカー等にて企画や広報などの業務に携わる。音楽家としての一面も持ち、米・パークリー音楽大学・ジャズ作編曲学科を卒業し、「地域の魅力」「その人らしい魅力」を最大限に引き出し社会に貢献することをテーマに、音楽イベントの企画や後進の指導をはじめ企画・制作に幅広く取り組んでいる。

### 未来構想会議ホットライン

（一社）未来構想会議に対するご意見・ご要望をお寄せください

〒100-6015 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号霞が関ビル 15階 JWD内

電話：03-6625-0723 / FAX:03-6625-0724

E-mail: [info@ffv.jp](mailto:info@ffv.jp) ホームページ <https://ffv.jp/>